



外国出張報告書

平成27年 5月 8日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成27年 4月
3. 出張目的 ため池の水抜き作業の実態把握のための調査等：C
4. 成果の概要

ラオス・ナムアン村のため池では、乾季に魚の収穫を目的とした水抜き作業が行われている。ため池貯留水の灌漑利用時に必要となる作業、費用負担（ポンプ代、燃料費など）を推定するため、水抜き作業の実態について調査を行った。その結果、ため池水抜き作業の手順、必要な諸経費、水抜き後の魚の収穫方法と収穫量、そして水抜き後のため池底部の堆積や堤体の状況が明らかになった。また、既存のため池にてサイフォン取水試験を行ったところ、村人自身によってサイフォンを用いて取水出来ることが分かり、エンジンポンプによる取水と比べ諸経費や維持管理の面で優れていることが示された。

乾季水田畑作の灌漑計画の策定のため、水路の一定区間において上下流間の流量を観測し、乾季水路搬送効率を算出した。乾季水路搬送効率では、測定区間の上流から下流に到達するまでに生じる損失水量と、下流地点の流量が安定するまでに多量の搬送損失が発生することを明らかにした。また、村に設置している水文観測機器のデータを回収し、ため池の水位変動について解析を行った。